

大学等への修学支援の措置に係る「学修計画書」

申請者氏名 _____ フリガナ _____

学籍番号 _____

<作成時の注意点>

- ・記述はパソコンによる打ち込み、または黒ボールペンで直接記入してください。(フリクション不可)
- ・事前に記入されている文書(項目等)は編集しないようにしてください。
- ・文字数を確認しながら作成してください。3つの項目それぞれ最低200文字は超えるように作成してください。(Wordで入力した文字を選択すると、選択部分の文字数が確認できます)
- ・フォントや文字の大きさ等は変更しないでください。
- ・記述スペース(罫線の中)は、書く量によって行を増やしたり、減らしても問題ありません。※文字数は指示に従ってください

1. 学修の目的(将来の展望を含む。)

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の(1)から(3)を参考にしつつ、その内容を記述してください。(200～400 文字程度)

- (1) 将来に就きたい職業(業種)があり、その職業(業種)に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

↓記述スペース

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。(200～400 文字程度)

↓記述スペース

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。次の項目の中から該当するものに✓を記入してください。

進学後、卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。

進学後、卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

上記の①で「進学後、卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。」を選択した場合、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200～400 文字程度)

↓記述スペース

注)記述しきれない場合には、別紙に記述のうえ添付してもかまいません

以下、教職員記入欄

総合判定結果

1.から3.を総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、

在学中の学修意欲等があると認められる。

在学中の学修意欲等があるとは認められない。